※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和５年度　探究科

教科	探究	科目	探究Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材『Advice for Researchers + Research Lab Notebook』						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の探究Ⅰで学習した経験を踏まえて、各自の興味関心のある研究対象を見つけて、主体的、能動的に探究活動を行ってください。情報の集め方、情報の正確性の見極め、分析方法、プレゼンテーションの仕方を学習することで、課題の発見からその解決に向けた過程を体験してください。これらの活動によって、知識を広め深く理解することの重要性を学び協働して探究する姿勢を身に着けましょう。

２　学習の到達目標

〇グループごとに探究内容を決定し、それに関する文献調査、実験、フィールドワークを行うなど、自ら疑問を持ち、課題の発見から解決に至る研究手法を構築する。

〇得られた内容を分析し、発表できるようにまとめ、効果的な方法につながる活動を行う。ポスター発表や、プレゼンテーションソフトを用いた口頭発表を行う中で、論理的思考・分析力・プレゼンテーション能力を高める。探究活動の成果を発表要旨やレポートとしてまとめ、取り組みを整理する。

〇グループごとに課題設定から調査研究を進めるうえで、自らの活動を振り返り、他者と協力しながら課題を解決する力や集団の中で自らの役割を達成することの大切さを学ぶ。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究の過程において、課題の発見、文献調査、実験、フィールドワークなど課題解決に必要な知識及び、得られた内容の分析、まとめなどの技能を身に付けられている。また、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できている。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集められている。探究活動を通じて得た内容について、ポスター発表や、プレゼンテーションソフトを用いた口頭発表、作品制作などを行う中で、論理的思考・分析力・プレゼンテーション能力、表現力を身につけている。	グループごとに課題設定から調査研究を進めるうえで、主体的・協働的に取り組むとともに、自らの活動を振り返りつつ、互いのよさを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	グループごとの探究活動・中間発表	探究Ⅰでの経験を踏まえた探究活動の進め方 ・情報の集め方 ・問いの立て方 ・課題に応じた研究方法 グループ分け グループごとの探究活動 教科内の中間報告 校内の中間発表会及び発表の相互見学	a:自ら設定した課題の解決に向けて、問いの立て方、情報の集め方、情報源の確認方法、課題に応じた適切な研究の進め方を身に着けている。 b:グループごとに決定したテーマを通して、自ら課題を発見し、担うべき役割を明確にして、情報を見つけ出している。また、活動を通じて得た内容についてポスターやプレゼンテーションソフトを用いた口頭発表の方法、論理的思考や分析の仕方を身につけている。 c:振り返りの意味を理解し、これまでの活動の振り返りを行い、次の活動へとつなげている。	班別ノート 発表要旨 中間発表	レポート 発表要旨 中間発表	レポート 中間発表 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	グループごとの探究活動・成果発表	グループごとのテーマに即した探究活動 発表準備 校内の成果発表会及び発表の相互見学 探究活動のまとめと振り返り	a:中間発表までの研究・中間発表会およびそこで得られたフィードバックを適切に用いて、グループごとのテーマに即した探究活動の方法を再検討・深化させている。 b:設定したテーマについて、より深く追究し、情報を見つけ出している。また、活動を通じて得た内容についての最終の口頭発表を行う中で、論理的思考・分析力・プレゼンテーション能力を身につけている。 c:振り返りを通して、これまでの活動の振り返りを行い、探究活動の意義を理解している。	班別ノート 発表要旨 成果発表	レポート 発表要旨 成果発表	レポート 成果発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度